

■令和2年度 地域づくり活動事例発表会 発表会概要及びタイムスケジュール

【発表会概要】

- ・開催日：令和3年1月18日（月）
10時30分～（10時20分 開場）
- ・開催場所：全面オンライン
※ネット環境などに不安がある方は事前にご相談下さい。
- ・配信方法：オンライン会議システム Zoom のウェビナー
- ・参加費：無料
- ・申込方法：専用サイトから要事前申込(申込期限：1月13日(水)まで※締切日を延長する場合があります)
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScq7mUEooMpgsTNQlaHEYLk3skbLIQDyibREuC-UwbpFiFiXw/viewform>
- ・主催者：岩手県ふるさと振興部地域振興室
- ・企画運営：株式会社サンサンスターラボ、株式会社イノベートオン、一般社団法人 fumoto
- ・問合せ先：電話:090-1127-1252 Mail:info@33starlab.com (担当：株式会社サンサンスターラボ 高野)



参加申込 QR

【タイムスケジュール】

- 10：20 オンライン会議システム立ち上げ 開場
- 10：30 開会
- 10：40 特別事例発表 伊藤眞作氏（群馬県昭和村地域おこし協力隊）
- 11：00 基調講演 平井太郎氏（国立大学法人弘前大学准教授）
- 12：00 ～昼休憩～
- 13：10 事例発表の説明
- 13：15 ①中島崇氏（山田町地域おこし協力隊）
- 13：30 ②広瀬雄大氏（西和賀町地域おこし協力隊）
- 13：45 ③大平直人氏（一戸町地域おこし協力隊）
- 14：00 ④安藤あさひ氏（洋野町地域おこし協力隊）
- 14：15 ⑤田中真之氏（岩手町地域おこし協力隊）
- 14：30 ⑥小関直氏（遠野市地域おこし協力隊 0B）
- 14：45 ～途中休憩～
- 15：00 ⑦田中大樹氏（陸前高田市地域おこし協力隊）
- 15：15 ⑧唐仁原俊博氏（西和賀町地域おこし協力隊）
- 15：30 ⑨庄子健一氏（岩手町地域おこし協力隊）
- 15：45 ⑩田端涼輔氏（久慈市地域おこし協力隊）
- 16：00 ⑪南館則江氏（葛巻町・㈱やどり木 代表取締役）
- 16：15 ⑫岩隈大樹氏（金ヶ崎町地域おこし協力隊 0B）
- 16：30 総括・閉会式
- 16：45 終了予定

■プレゼンターの紹介及び発表内容について

①13時15分～

《観光・交流人口の増加》

中島 崇氏

(山田町地域おこし協力隊)

無人島キャンプで町おこし。
東北唯一の無人島の海水浴場
である「オランダ島」で、豊
かな山田湾で育った海の幸を堪能できたり、
シーカヤックなどのマリンアクティビティ
を楽しめたりする、非日常キャンプの実現に向
けて活動しています。



②13時30分～

《観光・交流人口の増加》

広瀬 雄大氏

(西和賀町地域おこし協力隊)

(仮タイトル)
「元旅行会社の営業マンが
考える今だからこそ出来る
観光の取組み～コロナ後の観光活性化に向け
た準備について～」
・観光拠点の見える化(感覚から数値へ)
・観光計画の作成に向けた事業者ヒアリング
・情報発信(ポスター、ふるさとCMの作成)



③13時45分～

《観光・交流人口の増加》

大平 直人氏

(一戸町地域おこし協力隊)

一戸町にある御所野遺跡は、
北海道・北東北の縄文遺跡群
として世界遺産登録を目指し
ています。今年登録を見据え、ドライブマップと
まち歩きマップの制作に携わりました。
ぜひ、マップを手にとりて御所野遺跡で歴史を学
んだ後は、町内の飲食店や温泉にお立ち寄り、一
戸町を堪能して下さい！



④14時00分～

《地域資源の活用・産業の活性化》

安藤 あさひ氏

(洋野町地域おこし協力隊)

ウニが特産の洋野町。毎年開
催されるウニまつりでは、人
口1万6千人に対して2万人の観光客が訪れるなど
町を支える資源です。ウニを美味しく頂く恩恵があ
る一方、ウニの殻は洋野町だけでも年間85tが活用
されるすべなく廃棄されています。その不毛な存在
であるウニの殻を使い、陶器の開発に成功しました。
来年度、ウニ殻陶器の製作・販売で起業することに
ついて発表します。



⑤14時15分～

《地域資源の活用・産業の活性化》

田中 真之氏

(岩手町地域おこし協力隊)

石神の丘美術館リニューアル

《アートの町、花の町づくり》に携わって
美術館の屋外展示場が『花とアートの森』に生ま
れ変わる正解なき、2年間の葛藤と軌跡について
発表します。

コンセプト立案～町民説明会～町民参加ワーク
ショップ～植物詳細プランニング～現場～ガイド



⑥14時30分～

《地域資源の活用・産業の活性化》

小関 直氏

(遠野市地域おこし協力隊OB)

低コストセルフビルド住宅プ
ロジェクトの取組み

- ・トレーラーハウスの試作
- ・一軒家を約10万円で低コストリフォーム
- ・組立式ハウスの開発・販売 → 災害支援へ
- ・木工品の開発・販売

→ふるさと納税品で市のNo.3に(年末時)

<https://www.superlowcosthouse-research.com/>



⑦15時00分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

田中 大樹氏

(陸前高田市地域おこし協力隊)



仕事のみでなくプライベートでも地域の方々とお話しする中で必ず出てくる「こんなのあったらいいな」という言葉。

ないものが多い地域だからこそ、挑戦できる余白がたくさんあると感じています。

地域の「歯車」になりたい私が行っている・これから行っていききたいことをお話しします。

⑧15時15分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

唐仁原 俊博氏

(西和賀町地域おこし協力隊)



予定していた活動がコロナ禍により軒並み計画変更を余儀なくされ、地域に浸透しようにも人の集まりが自粛されるなかで、どうにかしようと模索した結果、ヤギを飼うことになったことについてお話しします。

⑨15時30分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

庄子 健一氏

(岩手町地域おこし協力隊)



- ・岩手町の紹介
- ・岩手町内挑戦者との協同活動と課題
- ・コミュニティスペースの設立について

以上のことについてお話しします。

コミュニティスペースについては、空き家物件のリノベーションを考えており、岩手町だけではなく近隣地域の方々との連携をしていきたい

⑩15時45分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

田端 涼輔氏

(久慈市地域おこし協力隊)



- ①協力隊をやりながらどのようにカフェを運営しているのか。カフェを作るまでの経費等
 - ②キッチンカーの活動、経費はどのようになっているのか。
 - ③カフェ、キッチンカーをやってみて地域の反応。
 - ④任期後(今年3月卒業)どのように活動するか。
- 以上のことについてお話しします。

⑪16時00分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

南館 則江氏

(葛巻町・㈱やどり木)



『欲しい暮らしは自分で創る』をモットーに、葛巻の商店街のあるまちなかで運営するコミュニティカフェを主軸事業としたまちづくり会社です。普段は常時店内でイベントなど開催、「まちなないコンテンツ」がまちなかで手に入ることを意識して運営しています。民間による創意工夫と、行政との協力関係によってここまできた敬意とこれからの展望をお話できればと思っています。

⑫16時15分～

《地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進》

岩隈 大樹氏

(金ヶ崎町地域おこし協力隊OB)



協力隊退任後、大学院進学のため一旦金ヶ崎町を離れるも、2019年に再移住し、古民家を改装したカフェ&貸しスペース「古民家交流空間永 TOKOSHIE」をオープン。古民家等地域の歴史文化的資源を、ただ保全するだけではなく、地域で暮らす若者の雇用、生きがい創出の場として活用していく方策について、岩手、首都圏双方の人的ネットワークを活かして多角的に実践、発信すべく模索中。